

# 共生

奈良県生協連

1999年10月

NO.34

## 世界遺産登録の奈良をたずねて PART-6



### <薬師寺>

うきょう すざくおかし

平城京の右京。朱雀大路の西半分を表す「西の京」の地に二つの塔と金堂が秀麗な姿をみせる。薬師寺である。創建は飛鳥の近くに天武天皇が皇后の病氣平癒を祈願して建立を発願。その後、天武天皇崩御のあと皇后であった持統天皇がその意思を継いで完成させた。しかし都が平城に移るに伴って薬師寺も現在の地に移転し、南都七大寺の一つとして栄えた。飛鳥の薬師寺はその後も本薬師寺と呼ばれ、平安時代中頃まで存在したようである。

薬師寺伽藍は10世紀の大火でその大半を失った。類焼を免れた金堂も15世紀の中頃に大風で倒壊。その後再建されたが16世紀初頭に兵火によって西塔と共に焼失。この幾度もの災難にも生きのびた東塔だけが創建当時そのままに秀麗な姿を今日に伝え、フェノロサをして「凍れる音楽」と激賞させた。また金堂の本尊薬師如来と両脇侍は大火によって当時の金色は失われたが救いだされ、和辻哲郎がその著古寺巡礼の中で「とろけるやうな美しさ」と称えたのである。この三尊や塔が本薬師寺からの移転説と新京で新しく作ったとの両説があり決着を見ていない。

# 県連臨時総会

8月6日、奈良女子大生協において、臨時総会を開催いたしました。

会員生協の総代会において人事異動があり、三氏が退任されたことにより役員補充を行いました。

期日までに会員から定員を越える役員立候補者はなく、3名の理事会推薦だけとなり、総会承認を得ることとなりました。

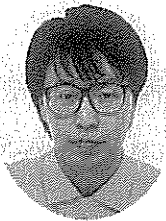
臨時総会は、繁田会長のあいさつの後、議長に中井眞紀子代議員、議事録署名人に村川康夫・横田倫代代議員を選び、議長の指示に基づき開票を行ないました。書面による議決に代議員21名中21名の参加があり、役員候補3名とも信任20名（議長除く）で承認されました。



## 退任された理事

右手五郎（奈良県労働者共済生活協同組合） 疋田利政（奈良教育大学生生活協同組合）  
藤森 茂（奈良県立商科大学生活協同組合）

## 新理事紹介



**堀田 新五郎**  
奈良県立商科大学生活協同組合 専務理事

はじめまして、このたび奈良県立商科大学生活協専務理事を務めさせていただくことになりました。実はお久しぶりでと申し上げるべきかもしれません。在外研修を終えて、2年振りに生協の専務にカムバックしたからです。この間、毎年専務理事が交代することとなりまして、県連事務局の方々をはじめ皆様にといろいろご迷惑をおかけしたかと存じます。あいかわらず、ふつつかな生協ですが今後とも宜しくおつきあいの程お願い申し上げます。

さてご存知の通り、わが生協も皆様のご支援をえて、設立以来5年目に入りました。まずまずのスタートダッシュではなかったかと思うのですが、真価を問われるのはこれからでしょう。学生諸君はもちろん、教職員のうちでも、生協がなかった時代を知らない方々が半数以上になりました。今やうちの大学においても、生協はあってあたりまえの存在となりました。無論喜ばしいことなのですが、正直これからは大変だなと気を引き締めているところです。

最後に、先日久しぶりに県連の理事会に出席いたしましたところ、どうも最近、生協の活動

に対して学生の参加が芳ばしくないように伺いました。これは生協活動に限らないのですが、私も、学生の何か全般的に内向きの姿勢が気になっておりました。今後は、学生への刺激ということをもう少し考えていきたいと思っております。



**村井勇二**  
奈良教育大学生生活協同組合 専務理事

奈良教育大生協に赴任して早2ヶ月が過ぎました。その間の取り組みとしては、先生方の学会の懇親会や、お弁当の提供、大学の職員さん方の懇親会など食堂でのコンパ事業の取り組み、パソコンのソフトウェアOFFICE2000の教職員への宣伝と販売、集中講義や特別講義でのテキストの出前販売の取り組み、そして生協夏祭りの取り組みなど、めまぐるしいほどの忙しさであつと言う間に夏休みも終わりました。まだ学内の様子や大学の教職員の方々の名前と顔も一致しない状況で、毎日業務に追われる日々です。

奈良県での生協運動を共に進めていく会員理事としては、まだ連帯の場で前任の疋田専務のような活動が出来ていません。奈良県内に大学生協がたくさん出来ました、いずれも小規

模の生協ばかりで、毎日の業務に追われ、なかなかまとまった場での活動や交流が出来ていないのが実状だと思います。

自分たちの生協をどのように良くしていくのか、そのことを通じて生協の活動がより一層発展していくような取り組みを共に作り上げていきたいと思ひながら、想いの空回りになっています。

たとえば来年の新学期に向けて、新入生に対する生協としての取り組みを、いろんな切り口からやれることを出し合せて、同じ大学生や新入生のいろんな不安や期待に応えていける取り組みが出来ればいいなと思っています。下宿生に対して、下宿生活のアドバイスや商品の組立、据えつけのお助けマンや料理教室の開催、自宅生へはパソコン購入のアドバイスや講習会の実施、合同ハイキングやコンパの企画など、生協らしい取り組みを通じて新生活スタートの応援をしていけたらいいなと思っています。

また3・4回生に対しては、就職活動のいろんなアドバイスや、先輩の経験を聞く会等の企画など、共通する就職活動の悩みを共に共有してヒントや活力になるような取り組みもしてみたいなと思っています。

これらの想いを実現していくためには、活動の中心になる学生委員会のメンバーどうしの交流が是非とも必要だと思います。今はいろんな事情で、なかなかまとまらない状況ですが県連の活動や大学生協の京滋奈良ブロックの活動を通じて、連帯の場を作っていきたいと思ひます。慣れない仕事が多くてなかなか大変ですが、新理事として微力ながらがんばりたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひいたします。



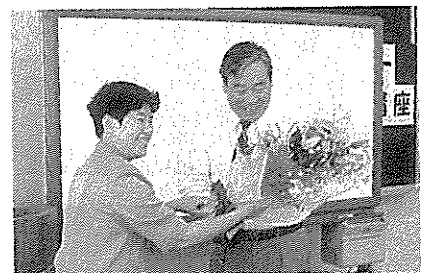
松村昌治  
奈良県労働者共済生活協同組合 専務理事

7月27日全労済近畿奈良県本部第23回通常総代会で専務理事に就任しました。前任者右手専務理事同様よろしくお願ひ申し上げます。奈良に赴任するのは今回初めてになりますが、奈良に住まいを移しそこで生活をしてみて、これまで抱いていた奈良のイメージが少し変わりつつあります。私にとっての奈良は、これまで長い歴史と文化の息づく町、世界遺産にも登録された史跡・寺院が点在する国際観光都市という県外の人間としての視点がすべてでしたが、そういう面はあるものの人口145万人が生活する場所としてのウエイトが日々大きくなっています。そしてそれに伴って、人と人が助け合う生活協同組合としての役割の重要性を実感しつつあります。共済事業等を通じて、これからも生活者・組合員の期待に応えられるように、全労済の活動を進めたいと思ひます。よろしくお願ひします。

### 8年間お世話になりました

全労済近畿奈良県本部、右手五郎前専務理事は7月27日の総代会において退任され、兵庫県本部へ転任となりました。'91年より県連の理事を務め、'96年より副会長として県連の活動にご尽力いただきました。また、「被災者生活再建支援法」の成立に向けて、署名活動や県、国会要請活動等、運動の先頭にたってこられました。出身地でもある兵庫県での今後のご活躍を期待致します。

仲宗根理事より花束を受け取る  
右手前副会長



県連臨時総会	.....2	環境	.....11	県連日誌・お知らせ	.....16
平和行進	.....4	広がる協同・くらしの輪	.....12		
福祉	.....8	つながる連帯・友好の輪	.....14		

# 平和

## '99 奈良県市民平和行進を終えて

大雨にも負けず 516 名が一緒に歩きました

5月6日に東京夢の島を出発した「'99 市民平和行進」は、今年もならコープから3人のリレー行進者がたすきをつないで1,200kmを歩き続け、8月4日に広島平和公園にゴールしました。行進中、沿道で声を掛けてくださった大勢の市民の熱い思いや、被爆者の願いを無事とどけることができました。

県内行進は、6月26日に京都から引き継ぎ、5日間の日程のうち2日間が大雨となりましたが、「一人の百歩より 百人の一步」を大切に、それぞれの条件に応じて、県内各地を元気に歩きました。行進参加者は合わせて516名となりました。

◆6月26日(土) 昼過ぎから般若寺において京都からの引継ぎ集会が行われ、各代表より歓迎メッセージをいただき、ならコープ本部に向けて行進しました。沿道では手を振って応援してくれる人も多く、途中、県庁前で県国際課小川主幹のあいさつをいただきました。終結集会後、わかくさの会の方々とグループ毎に平和交流会を持ちました。



国際課小川主幹のあいさつ

◆6月27日(日) 大雨のため行進参加者は例年より少なめでしたが、それでも豪雨の中、視覚障害の方など85名もの参加がありました。JR 奈良駅前から三条道り経由で県庁まで元気に行進しましたが、途中で警報が出たため県庁で終結集会となりました。その後通し行進者と有志は奈良市役所へ向かい、職員の出迎えを受け、松島課長より激励のあいさつをいただきました。



◆6月28日(月) 神武天皇陵から洞部落跡、  
樞原の杜をめぐり見瀬丸山古墳までの平和ハイキングを行い、50名の参加がありました。浜田先生のガイドで「樞原の杜と戦争」をテーマにしたこのハイキングでは、考古学という科学的視点で歴史を見ることの大切さを、目で確かめながら感じました。



◆6月29日(火) JR 郡山駅を出発し、大和郡山市役所で福田秘書広報課長から激励のあいさつをいただきました。その後雨の中、コープいまご店まで行進。いまご店では、平和の会による「新ガイドライン関連法案」をテーマにした寸劇や、平和交流会があり、わかくさの会の椋木さん金山さんの被爆体験に、皆熱心に聞き入りました。



◆6月30日(水) 前日までの雨もあがり、10時にディアーズコープたつたがわを約120名で出発しました。三郷コミュニティセンターでは椋田収入役から、また王寺町役場では植野助役より激励のあいさつをいただき、順調な行進で、無事大阪へと引継ぎました。



三郷町椋田収入役のあいさつ



王寺町植野助役のあいさつ

## 報告集会

8月23日、あすなら苑において、平和行進報告集会が開催されました。わかくさの会市原会長のあいさつの後、3人の行進者によるスライド説明が行われました。

行進中に新ガイドライン法が成立し、あわただしい基地の動き等、3人それぞれ違った視点での報告がありました。最後に、金井ならコープ理事がハーグで開かれた世界市民平和会議に触れながら、悲観する出来事ばかりでないことも話されました。





# 平和

東京から広島へ全世界の平和を願い、リレー行進しました

## 行進に参加して

ならコープ高田支所 出口充彦

7月3日から8月4日まで市民平和行進に参加しました。

1ヶ月間歩き続けて確信したことは、やはり1日も早く核兵器をなくして行かなければいけないということです。それは行進参加者、とりわけ被爆者の方のお話を聞いてあらためてそう感じました。

行進中にはたくさんの被爆者のお話を聞く機会がありました。広島で被爆されたある方は原爆投下直後爆風で建物の下敷きになりましたが、わずかな光をたよりに逃げ続けたそうです。家族も学校も街も一瞬にして消え去り、死屍累々たる瓦礫の中、逃げている途中「助けてください」「水をください」というたくさんの人の手に何度も足をつかまれましたが生きるためにその手をふりきり、それは本当につらかったといわれました。今はすっかりきれいになっている広島街ですが、歩くたびに土の中から手があらわれ足をつかまれる気になるそうです。

54年も前のことなのについこの前のことのように鮮明に記憶にあり、人々を助けられなかったと罪の意識に悩まされておられます。このような被爆体験を聞いているうちに、私は核兵器の恐ろしさ残酷さをわかった気になっていました。しかし、被爆者の方は「言葉では表現できない状況でした」とおっしゃいます。その言葉を聞き、被爆当時のことは私達が想像する以上に深く重いものなんだと思い知らされました。

核兵器は私達の生活も、未来もすべて破壊します。核兵器をなくすこと、平和を守ることは生協の基本理念「いのちとくらしを守る」ことそのものだと思います。平和運動は生協に欠かせないものだと感じました。



出口、池内、岡林さん（左より）

ならコープ生駒支所 岡林秀憲

私は今回初めて平和行進に参加させて頂きました。

これまでは平和について特に考えることもなく、参加するまでは不安ばかりでした。ですが、実際行進に参加して強く感じたことは、知っていなければならない事実があり、これを今まで知らなかったというショックです。

被爆者のかたのお話や、米軍基地を実際に見て、さらに新ガイドライン法案をめぐる現在の危機的状況を知り、今までこういった現実を知らなかったことに怖さを覚えました。そして、こういった市民一人一人の草の根運動の大切さを実感しています。

ディアーズコープたつたがわ 池内 暁

入協以来生協の平和に関する事柄には縁がなかった私ですが、今回の行進に参加させてもらって、いろいろなことを学びました。中でも一番私の印象に残ったのは多くの被爆者の話を聞くことができたことです。

被爆者の方が話される原爆投下後の惨劇は写真や資料などではわかりづらい生々しさにあふれたものでした。TVのドキュメンタリーや本や雑誌などのメディアだけではわからない、生々しい原爆投下後の広島・長崎の惨状やその後被爆者としてさまざまな形で差別され、結婚や就職などで苦勞された話は私にとって考えもつかないことでした。とりわけ多くの被爆者がいまだに自分が被爆者であり事実を語

れずに、苦しみつづけていることを聞いたとき、核兵器とは一瞬にして多くの死傷者を生み出し、町を廃虚にするだけでなく、生き残った人を死ぬまで苦しませる存在であるということを知りました。

それまで私は核兵器というものを頭の中でしか理解できませんでしたが、被爆者の人たちにとってまだ被爆という事実は終わっておらず、本当の意味での被爆者救済の難しさを初めて実感しました。

今世界には広島・長崎より強力な核兵器が3万発以上存在しています。唯一核による被害を受けた日本が、もっと声を大にして核兵器の恐ろしさを世界に訴えていかなければと感じました。そして核兵器廃絶の世論が高まることによって、より多くの被爆者が自分の体験を語れるような世の中にしていかなければならないのではと思いました。最後に、行進にさまざまな形で参加・応援してくれた方々、本当にありがとうございました。

## 「世界の都市で原爆展を」

新たにオーストラリアのリズモー市に原爆パネルを贈りました

核兵器の恐ろしさを世界の人々に知ってもらおうと、日本生協連の呼びかけで取組んでいる世界の都市300箇所に原爆パネルを贈る運動で、新たに大和高田市からの紹介により、同市の姉妹提携都市であるオーストラリア、リズモー市へ贈ることができました。リズモー市長から大和高田市長あてに感謝のメッセージが届きました。今までに、奈良から4箇所の都市に贈りました。

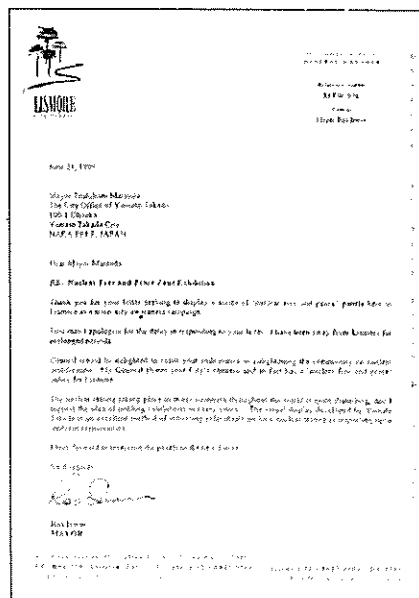
非核平和パネル展をリズモー市で開催したいという内容の手紙をいただき、ありがとうございました。

私達は、リズモー市での核拡散防止に関する啓発事業を喜んで応援したいと考えていますし、大和高田市の意向を分かち合えると思います。実際、リズモー市でも非核平和政策を行っています。

世界各国で行われている核実験は憂慮すべきことであり、多くの都市でこのパネル展を開催するという考えを支援します。大和高田市からのパネルを展示し、視覚に訴えることは、核実験が与える影響がどのようなものかについて無知な地域の人々に知らせる素晴らしい方法です。

パネルが送られて来ることをお待ちしております。

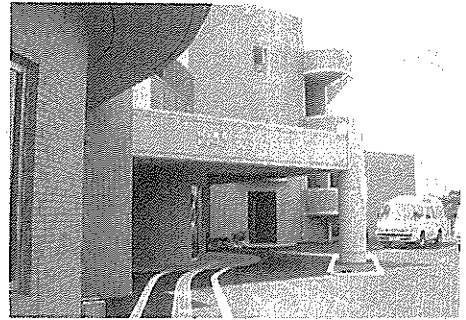
リズモー市長 ロズ・アーウィン



# 福祉

## 5万人の夢と願いをのせて特別養護老人ホーム「あすなら苑」9月開苑

約4年間にわたって取組まれた「あすなら苑をつくる会」ならコープの職員、組合員による学習活動や募金活動、様々なバザーの活動などで、あすなら苑は7月末に竣工し、9月1日に入居者を迎えました。このあすなら苑は、約5万人の人達から3億6,250万円(99年7月現在)の募金が寄せられ、願いが実現したものです。今後のあすなら苑は、ならコープ組合員の福祉活動の拠点として、また、「あすなら苑をつくる会」を「あすなら苑を育てる会」に衣替えし、新たなスタートをきりました。



### あすなら苑竣工式



柿本知事



阪奥市長



辻村会長



吉永理事

8月21日、あすなら苑竣工式が行なわれ、行政、各種団体、組合員等170名の参加がありました。主催者あいさつでは伊藤次栄理事長が多くの組合員や賛同者の力でここまで来れたことに感謝の意を述べ、素人の集団ではあるが、今後の参加型福祉

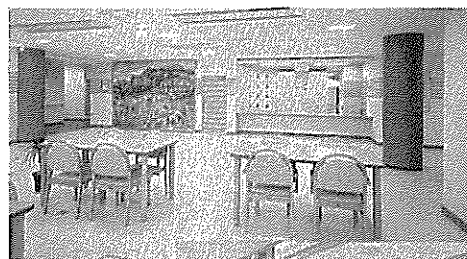
の拠点として頑張っていきたいこと等を話されました。来賓として、柿本善也県知事、阪奥明大和郡山市長、辻村泰範奈良県老人保健施設協議会会長、吉永紀明日生協常任理事、逸見啓ならコープ理事長のあいさつの後、施設見学と祝賀会が行われました。



伊藤理事長のあいさつ



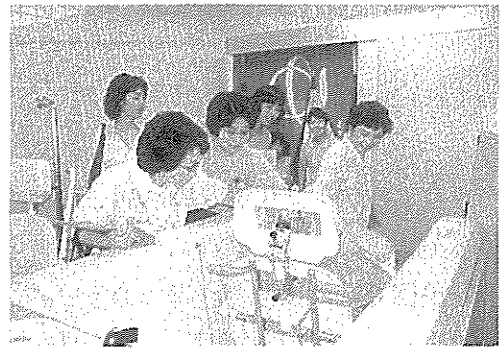
祝賀会でのあすなら苑職員のみなさん





## あすならハートフルフェスタと あすなら苑見学会

8月23日から6日間、9月の開苑にさきがけ、特養完成を祝う催しが行われました。組合員への施設見学会も行われ、開催期間中は約2000人が訪れました。終日、職員、ボランティアや実行委員の方々は、フェスタ参加者の対応に追われていました。



㊦ 8月23日(月)  
平和行進報告集会

㊦ 26日(水)  
きてみて実感福祉体験デー

- ・ シュミレーション
- ・ たすけあいの会等紹介
- ・ らくらく体操
- ・ 入浴体験
- ・ 栄養、健康、介護
- ・ 介護保険相談
- ・ 骨密度測定

サロンコンサート♪



㊦ 24日(火)  
講演会「音楽療法ってな〜に」  
高本恭子さん  
サロンコンサート♪



㊦ 25日(水)  
にぎわいプラザ

- ・ 商品バザー
- ・ ゲームコーナー
- ・ 遊びコーナー

㊦ 28日(土)  
♪松本真理子♪

ハートフルコンサート  
〜元気印のマリンバワールド〜



㊦ 27日(金)  
演芸会「あなたの出番です」

- ・ 落語
- ・ コスモコール
- ・ 詩吟&扇舞
- ・ 朗読
- ・ サキソホン演奏など



## 苑の上でも“縁の下の力もち”

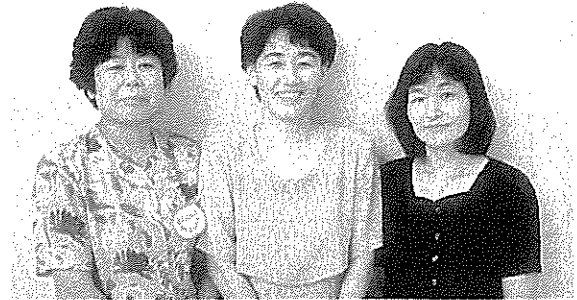
ならコープ福祉ボランティアセンター

9月1日からお年寄りの入居が始まったあすなら苑に、ならコープの福祉ボランティアセンターが開設されました。ならコープの25年の歴史の中で築き上げられた参加型福祉の拠点として、将来的には福祉の多様なボランティア活動のセンターとして発展することが期待されますが、当面はあすなら苑との関係に絞った活動を進めていきます。

事務局の主な役割は、苑でのボランティアの調整と援助・福祉情報の提供・ヘルパー介護講座の開催・集会室の管理運営などとなっています。

「苑」が望むボランティアは、今まで多様な生活を送ってこられ、一人で暮らすことが困難になったお年寄りが希望することを援助し、また、苑ではお年寄りに普通の生活を送っていただけのような、側面での活動になると思います。具体的には、話し相手や散歩のお供、入浴介助などです。また「あすなら苑を育てる会」と協力して苑の行事に協力していただけるボランティアも求められています。

8月23日から1週間の施設見学会には2000人近くの見学者がいましたが、奈良県内はもとより全国的にも注目されている施設のため、今後も多数の見学希望者が予想されます。施設側では開設時の混乱で対応が困難なため、ガイドボランティアを養成し登録していただくこととなります。



吉田頼子、吉田信子、小林良子さん（左より）

事務局（協力員）は、高校生の息子二人の母吉田頼子、3世代5人家族の小林良子、子育て終了ただ今夫婦二人暮らしの吉田信子と、三人三様の主婦です。共に高齢者福祉・ボランティア・事務局という点では、初心者マークをつけており、ボランティアセンターに期待されることの大きさに少し不安を抱えてのスタートとなりました。事務所は苑の上3階で、とびらは閉まっていますが気持ちはオープンです。笑顔と優しさを手土産にいつでもおたずねください。

### ★ 現在募集中のボランティア

- ・お散歩ボランティア
- ・ガイドボランティア

★ 施設見学は11月頃から受け付けます  
(事前に申し込みが必要です)

＋ 施設見学・ボランティアなどの申し込みは

連絡先：TEL 0743-57-1150

毎週月曜日～金曜日

午前9時～午後2時

### 世界同時アクション 10億人の地球市民とともに アースデイ 2000

「アースデイ 2000 キャンペーン」は、各団体・個人が「アースデイ 2000」に連動した独自の行動を起こし、情報とロゴマークを共有しながら、全体として、様々な環境問題の解決法を模索していく「情報共有ネットワーク」です。日本でもキャンペーン参加団体・参加者を募集中です。

#### ■アースデイ 2000 の3つの柱

- ①「地球環境の10年」を締めくくる
  - ・「検証 地球環境の10年(仮題)」の出版
  - ・2000年までの共通・重点目標の達成
- ②市民運動の新しい広がりを生み出す
  - ・2000万人のアースデイアクション
  - ・国内の新たなひろがりの創造
  - ・2000年アースデイ・アジア同時アクション
  - ・中国との市民レベルの交流
  - ・学校をフィールドにした環境教育の教材づくり
- ③持続可能な社会の実現へ道筋をつける
  - ・21世紀のアクションプランづくり
  - ・「アジアの将来像を考えるワークショップ」の開催

#### ■アースデイ 2000 への参加の仕方

- ・キャンペーン期間中(1999年春～2001年春)、組織または個人として掲げる環境関連の目標や取り組み行動を宣伝する。
- ・アースデイ(1999年～2001年の4月22日)または近辺で「アースデイ 2000」に連動するイベントを主催する。
- ・各地の「アースデイ 2000」イベントや企画・運営委員会のプロジェクトに参加する。
- ・機関紙で「アースデイ 2000」キャンペーンについて告知する。
- ・キャンペーンのネットワークを利用する。
- ・「アースデイ 2000」日本連絡所やプロジェクトの企画などにボランティアとして関わる。

#### ■参加のルールについて

独自の行動計画、キャンペーンやイベントを「アースデイ 2000」に連動させてキャンペーンに参加するのが基本ですが、情報を共有し全体を盛り上げていくために、次のことをお願いします。

- ・参加を決めた団体・個人は「宣言」や企画するイベントを連絡所にお知らせください。
- ・期間中、全国や世界に向けて発信したいことを、随時、連絡所にお知らせください。
- ・共通ロゴをお使いください。

くわしくは以下へお問い合わせください。

アースデイ 2000 キャンペーン企画・運営委員会

〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-7-3 西川ビル 302

TEL 03-3263-9022 FAX 03-3263-9463

E-mail [office@earthday-j.org](mailto:office@earthday-j.org) URL <http://www.jca.ax.apc.org/earthday/>

# 広がる協同・くらしの輪

## 21世紀やまとむらづくり塾

… アドバイザー企画研究会 …

6月25日、天理観光農園において、やまとむらづくり塾アドバイザーを対象に、塾の98年度活動の反省と市町村の取組み状況についての報告と、99年度活動計画について意見交換が行われました。

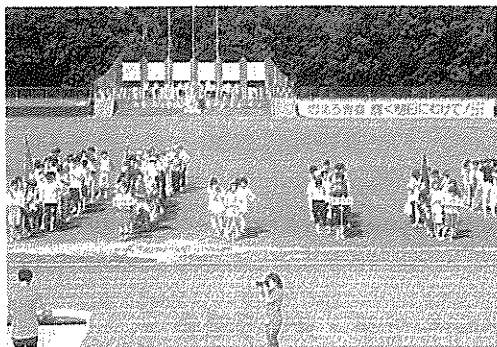
## 大学生協夏祭り

7月2日、奈良女子大学で七夕祭り、9日には、奈良教育大学と奈良県立商科大学で夏祭りが行われました。奈良女子大学ではゆかた姿で軽音楽演奏が行われるなど、蒸し暑い夕暮れのキャンパスが、職員や学生でにぎわいました。



## 第28回奈良県青年祭

「広げよう青年の輪」を統一テーマに第28回奈良県青年祭（奈良県青年団協議会主催）が開催されました。7月25日、県立橿原陸上競技場を主会場に青年祭体育部門の競技が行われました。奈良市在住のならコープの職員でバスケットボールと軟式野球に各1チーム参加しました。



## 近畿の食生活あり方検討会

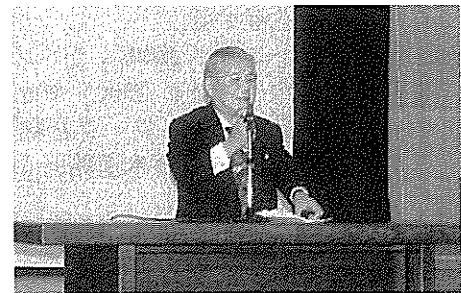
… 「食と健康」について…

7月5日、ホテルニュー京都において、近畿の食生活あり方検討会が開催されました。この検討会は農水省が、考えの異なる委員と議論をして最終報告をとりまとめることとして行われました。「食と健康」には各層から500人近くの参加がありました。今後「食と教育・情報」「食と生産・流通」が予定されています。

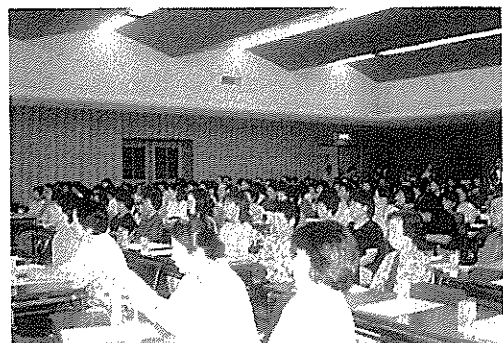


## 第7回協同組合デーのつどい

7月19日、農協会館において第7回協同組合デーのつどい（奈良県協同組合連絡協議会主催）が開催されました。今回のつどいは「協同組合における高齢者福祉を考える」をテーマに、映画「一本の手」の上映後、協同福祉会の伊藤次栄理事長の講演が行われ、福祉活動をされているグループも含め210名の参加がありました。



運営協議会高田委員長のあいさつ



## 関西電力・大阪ガス事業経営問題懇談会

8月30日関西電力本社、8月31日大阪ガス本社において、関西電力・大阪ガスと「関西消費者団体連絡懇談会」との経営問題懇談会を開催いたしました。坂本代表のあいさつ、関西電力から八木取締役、大阪ガスから遠藤常務のあいさつ後、回答書の手渡しが行われ、平成10年度の決算概況、経営効率化の取組み、環境問題の取組み、部分自由化について等の報告をいただき質疑応答に入りました。今年は新規質問事項が多く出されました。



八木取締役（左）と坂本代表



遠藤常務（左）と坂本代表

## 関西消費者団体連絡懇談会

8月31日、関消懇総会を開催いたしました。活動報告、会計報告と監査報告、次年度の活動計画が提案され、長期に渡って参加がなく会費支払いのない団体への再度の働きかけ、会計年度末の3月末から7月末への変更が確認されました。

## 衛生研究所との懇談会

9月8日、県の衛生研究所において施設見学と懇談会を行ないました。この懇談会は食の安全運動取組みの一環として、衛生行政の実態把握と生協の衛生行政に対する思いを率直に聞いていただくために開催されました。衛生研究所から今井所長はじめ課長4名、生協側からならコープ女性理事含む13名が参加しました。

## 近畿地区生協・行政協議会

9月2日～3日、和歌山県田辺市において、第11回近畿地区生協・行政合同会議を開催いたしました。厚生省の内田生協検査官から、生協をめぐる動向、適正な運営、保険・福祉サービス等の報告、日生協品川常務から、経営不振生協の緊急対策、模範定款例の改正とあわせて機関運営のガイドラインを決定すること、2000年食品衛生法改正運動に取り組むこと等の報告、各府県連から福祉、行政との連携した取組みについて報告が行われました。



## 反核・平和の集い

9月19日奈良文化会館において、「第15回反核・平和の集い ユーゴスラビアに希望と平和を」（奈良YMCA国際・平和委員会主催）が開催されました。この集いにはアルバニア系ユーゴスラビア人の家族らがコソボ自治州でのセルビア人との紛争から命からがら逃れ来日してきた経過に触れながら平和の尊さを訴えました。今まで平和に共存してきた民族が、為政者によってことさら民族意識をかりたてられ、紛争にまきこまれていく過程は、過去の戦争の歴史を再認識する思いでした。



スマイリュ・レムジエさん（中）ら



今井所長らとの懇談

# つながる連帯・友好の輪

## 奈良高等専門学校生協

奈良高専生協に待望の「大山乳業のアイスクリーム」が入荷することになりました。京都滋賀奈良の大学生協では「安くて安全でおいしい」と評判でしたが、残念ながら今まで高専生協と樟蔭女子短期大学生協では物流の関係で入荷がありませんでした。やっと、この秋から入荷する事になりました。

そこで9月末に試食会を開催し、10月より展開する予定です。試食会には大山乳業の方も来ていただいて、安全な牛乳へのこだわりや、生産者の方々の思いなどをお話いただき、利用する側の組合員の学習会も兼ねたいと考えています。

(学生委員長・弦川)

## 奈良女子大生協

秋のパン・サンド・デザートを試食会をやりました。40名近く参加し、わいわいと楽しくPOP・感想を書いてもらいました。

共済セミナーに4回生が4人参加し、元気で楽しく、後半の卒業までなにか取り組みたいと感想を出していました。

コンビニ説明会に職員(白井さん・五井さん)が参加し、いろいろ秋からの品揃えに意欲が出ています。

屋根さんも各大学生協で働く職員さんのヒヤリング活動に参加し、お店と職員が元気になる取り組みで、生協職員の元気や工夫・頑張りを聞き、すごく元気になっています。

また、小規模の生協のネットワークも立ち上がり、お互いに学び合う場が出来つつあります。

10月3週の土曜日に滋賀大学大津でネットワークの集りがあります。

奈良女子大のエコ宣言準備にむけ、女子大生協も環境にやさしい取り組みを検討しています。カップ自動販売機の紙コップ回収・リサイクルを設置しました。空き缶回収機の利用促進の宣伝、学内のゴミ箱の調査等、色々楽しい秋になりそうです。

(竹内専務理事)

## 奈良労済生協

去る、7月27日(火)、奈良市春日野荘において「全労済近畿奈良県本部第23回通常総代会」を開催いたしました。

創立40周年を2年後にひかえて、第1期計画(1999年6月～2001年5月)を策定し平均事業伸長率4.60%を目指すことを確認しました。

同時に、組合員・協力団体から支持され、地域に根ざす共済生協づくりにむけた組織活動として、県下3地区程度に「地域推進会」(仮称)の設置を準備していくことも確認いたしました。

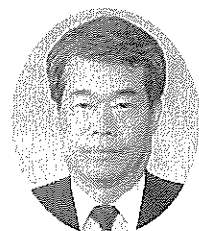
また、任期満了に伴う役員改選を行い、和崎純二新理事長(シャープ労組)・松村昌治新専務理事(員外)を選任いたしました(任期2年)。

今後とも21世紀に向かって、持てる力を十二分に発揮し、組合員の皆様に選択される「全労済」を目指し、積極的な運動と事業を展開していきますので、皆様からのご支援・ご理解・ご協力の程、よろしく願いいたします。

(事業推進部推進二課・上田)



和崎理事長



松村専務理事





## 奈良教育大生協

奈良教育大生協では2000年に法人格取得25周年を迎えます。理事会に25周年記念事業委員会（代表、比留間理事長）を発足させ、とりあえず生協設立からの教育大生協の歩みをふりかえるための資料整理にかかっています。その中で故柳川理事長先生の『我が生協 近代化のあゆみ』や旧八尾専務の『奈良教育大学生生活協同組合史私論』など、歴史的に貴重な資料もありました。秋以降それらをベースに歴代の関係者各位へのネットワークづくりのための、資料の整備にとりかかる予定です。

8月の夏休み中、奈良教育大学では本学の集中講義以外に県教育委員会主催の教員免許認定講習、学校図書館司書教諭講習など、各種の特別講習が行われました。生協では、各講師の先生にテキスト販売のお願いをして各教室へ出前販売を行いました。書籍のパートさんが朝早くから準備して9時の開講までに出向きました。教育委員会の方も教室でテキスト販売に協力していただき、おかげで8月の書籍部の売り上げは予算を大幅に超過しました。来年度は教育委員会にお願いして、全ての講師の先生のテキストを取り扱えるようにしたいと思います。また、学生諸氏への集中講義のテキストの出前販売は、『生協が教室までテキストを売りにきている』『商売熱心さ』に学生さんは驚かれています。（村井専務理事）

## 奈良県立商科大生協

商科大の学長が「奈良の老舗物語」を創刊され、商大生協で販売することになりました。是非皆さんも、お読みください。ご注文は商大生協まで！

学生委員の山口君は、食堂のアンケートの集計頑張っています。この秋、禁煙問題・営業時間要望実現のため。

食堂メニューを変更します。栄養表示をプライスカードに載せることが出来ます。

村川店長の奮闘が待ち受けています。

商科大学は、9月6日から開講、13日から試験です。試験勉強頑張れ！

（竹内理事）

## ならコープ

ならコープでは、1999年秋の班長会、店舗グループ利用者懇談会を、約530会場、12,000人の参加で9月13日（月）～10月23日（土）の期間で開催します。

今回は、「環境問題」をテーマとし、以下の2つを主な目的にして取り組みます。

- 1) 「環境問題」（主にゴミ問題やならコープのリサイクルの取り組み）のテーマを学習しながら組合員とともに活動を広げ、グリーンコンシューマーを増やす取り組みを行ないます。
- 2) テーマや商品の学習と教え合いを通じて、生協商品の利用を高めながら普及や加入を促していく機会とします。

主な内容は、

- 1) ゴミ問題やリサイクル活動を中心に、ならコープの環境政策やガイドラインなどについて理解を深めることとします。
- 2) ゴみの分別やリサイクル活動などの環境や資源を大切にする取り組みや現状についてのお知らせを行ない、多くの組合員の理解と参加の輪を広げます。
- 3) 具体的な内容では、「共同購入カタログリサイクル」「店舗リサイクルコーナー」のリサイクル活動の取り組みのお知らせと同時に、ルールを理解し徹底していく中で、みんなが環境問題に対して学び考え、行動してグリーンコンシューマーになることができる内容を目指します。
- 4) わかりやすい内容や、誰にでも気軽にできる環境にやさしい取り組みを提案します。
- 5) 商品活動では、統一普及商品の「お米」を中心に学習し、組合員の関わりを大切に商品活動の取り組みへの理解や利用普及をはかっていきます。

（組合員活動室・中野）

# 県連日誌

- 7/5 食生活のありかた検討会  
9 府県連協議会  
15 99年度第1回理事会  
19 協同組合デーのつどい  
27 労済生協総代会  
28 県連責任者会議
- 8/6 県連臨時総会  
21 あすなら苑竣工式  
23 平和行進報告集会
- 9/2・3 近畿府県連生協・行政合同会議  
11・12 全国府県連自主交流会  
21 第2回理事会・理事長交流会



# お知らせ

## ▼ 第3回ごっつお展

- と き 10月17日(日)  
ところ 奈良市生涯学習センター  
主 催 奈良の食文化研究会

## ▼ 第10回奈良県生協大会

- と き 10月30日(土) 10:30~14:30  
ところ あすなら苑3階大ホール

## ▼ ひまわり号列車

- と き 11月3日(水)  
ところ 信楽までバスの旅  
主 催 ひまわり号を走らせる奈良実行委員会

## ▼ 99年度第2回生協・行政協議会

- と き 11月11日(木)  
ところ 共済会館やまと

## ▼ ノーモア・ウォーのつどい

- と き 12月5日(日)10:00~  
ところ コープみみなし店

## 編集後記

▽あすなら苑竣工式で苑の若い職員さん達がキンキキップスのフラワーを歌っていた♪僕は愛の花咲かそうよ苦しむことばかりじゃないからこんな頑張り君がいるかなわなない夢はないんだ♪ これからの自分の仕事に希望と不安で一杯だと思ふ。今のやさしい気持ちを持ち続けて頑張つてほしい。

(俊)

▽先日、ぼーっとバリ島へ出かけました。亜熱帯リゾート地の顔から見れば、沖縄は日本、バリはインドネシア、という文化水準の違いを実感！一方、インドネシアの外貨獲得のドル箱―バリ島でガイドするインドネシア語、バリ語、英語、そして日本語(バリにいて何と一年でマスターしている)が、うまいハンサムボーイに強烈なカルチャーショックを覚えしました。(うーん、すごい!)そして、その日、東ティモールで二十五人もの戦死者が…… ふくく。とても複雑になってしまった私です。(悲)

▽市内の中学校の裏を抜けて通勤している。新学期が始まり、茶髪の女子生徒、カバンを持たず登校する男子生徒。何やら先生に呼び止められている。めだちたいのか、先生にかまってもらいたいのか?テレビで見る白髪に顔黒の女の子達。これも自己主張の一つ?障害を持つているのも個性の一つ:外見だけで人を見ない心のバリアフリーって修行が必要。(鈴)

奈良県生活協同組合連合会

〒630-8136 奈良市恋の窪1-2-2 ならコープ気付

TEL 0742-34-3535

FAX 0742-34-0043